

たきのさわほぜんかい

滝乃沢保全会（中野市）

・組織の活動面積 A= 30.9 ha

・組織の構成員数 約 220 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) □

資源向上
(長寿命化) □

取組開始年度

平成27年～

—

—

構成員

農家、柳沢区、倭小学校PTA、小学校サポート隊、柳沢果樹等生産組合など

組織の概要

・地域のシンボル高社山、滝乃沢山の裾 西斜面に広がる農地でリンゴ、ブドウを栽培している農家で組織されている。多雪地帯であり、傾斜地で農業を行うには条件は厳しいが、降雨量が少ないため、畑地灌漑施設が整備されており、水はけがよく西日がよく当たるため農産物の味は、天下一と自慢できる。しかし所得の減少から後継者が少なく荒廃農地の発生が危惧されている。共同作業により環境の保全を目指しています。

みんなで力を合わせて地域の活性化を図ろう

実践活動



水路点検と清掃



農地法面の除草



電気柵周辺除草



活動計画策定の話し合